



可茂県事務所 振興防災課

〒505-8508

美濃加茂市古井町下古井 2610-1

TEL:0574-25-3111

内線 208

家庭教育推進専門職 安田



<通信「いいかも」>

いいかも

令和8年度 可茂地区トレジャーワード 育もう豊かな感性Ⅲ ～泣いて、笑って、ともに歩もう～

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

様々な校種で家庭教育学級開催!

美濃加茂市牧野にある可茂特別支援学校は小学部・中学部・高等部が設置されている可茂地区の特別支援学校です。今回、初めて家庭教育学級を訪問・取材させていただきました。保護者のリーダーシップで、親の学びの場を大切に継続しておられます。

県立可茂特別支援学校(小学部)家庭教育学級 『子育てで大切なこと』

～やまなみ工房・上土橋勇樹くん親子から学んだこと～
講演会型 ～家族の大切さ～

日時:令和8年7月2日(木)

9:30～11:30

場所:可茂特別支援学校
体育館

参加者:保護者 約 40名



小学部交流会(家庭教育学級)・次第

- はじめのことば
- 校長先生のあいさつ
- 講話

～休憩～

- グループ交流
テーマ「最近の子どもの様子」
- お礼の言葉
- 終わりの言葉・(アンケート打ち込み)

役員さんや校長先生から「今年度のPTA活動のテーマは、『まあるくつながるPTA』です。新たなつながりを作り、つながりを広げ、楽しい時間にならう。」「グループ交流会ではたくさん話して交流していただきたい。」とお話がありました。



リサイクルコーナー
体育館隅にて、ジャージ・制服を、一人2点まで無料でいただけます。これを楽しみに来られる方も多いそうです。

<グループ交流会> 5～7名程で、A～Fまでのグループ



- ・小学部に通うようになったら、〇〇ができるようになりました。
- ・下の兄弟姉妹に、自分から関わるようになりました。
- ・学校の写真を見ると、子どもの目がキラキラしていて、この学校に進学させて、本当によかったと思います。

子どもにとって居心地のいい環境、良い人間関係が、子どもの自発的な表現、その子独自の魅力的な内的世界の表現を育んでいる。障がいのある人が、その人らしく生きることができ、それを表現できる場所、社会へ発信する居場所が地域社会にあることが共生社会の実現のためには大切です。
(ご講話資料の「まとめ」より一部抜粋)

- ・朝の登校準備が大変です。〇〇が嫌いで、食べられません。
- ・ユーチューブとかは、どんなふうに観させていますか。
- ・子どもに優しくすぎるのもどうか。社会に出た時に…。
- ・特支の選択は間違いでなかったと思いました。今の子どもの姿を見て、ホッとしています。



子どもの今の状態を否定しない。子どもの今のままの状態を社会の中に位置づける!

講師



じんの ゆきお
神野 幸雄 氏

岐阜大学 教育学部
附属特別支援教育センター 準教授

可茂特別支援学校では、小学部・中学部・高等部と、各々の学部で交流会(家庭教育学級)が開催されます。講師の選定や学級の型(形式)、当日の司会進行等、全てPTA役員が、意欲的に企画・運営しておられます。(取材より)

学校法人トキワ学園 トキワ幼稚園家庭教育学級
『スマホカメラを使いこなそう』

講演会型+体験活動参加型 ～家族の大切さ～

日時：令和8年7月15日(水)

10:00～11:30

場所：可見市 トキワ幼稚園
(新園舎 2 階ホール)

参加者：保護者 16名



アドバイスされたことを各々で試します。「なるほど」「そうやねえ」のつぶやきが、次第に、「わ～すごい」に変わっていききました。



はじめに、「写真の棚卸し」と「はじめに整理するところ」から講座がスタートしました。スマホで撮影した膨大な数の写真を、スマホの中にそのまま置いている人も多く、それらを上手に整理する方法を学びました。

次に、「スマホ写真の撮影手順」についてです。

- ①ピントの合わせ方
- ②明るさの調整
- ③画角の調整
- ④シャッターの押し方
- ⑤レンズの位置や高さ
- ⑥被写体との距離
- ⑦光と写真の撮り方 等々、

スマホを片手に夢中でシャッターを押し、あっという間に時間が過ぎていきました。先生がグループを巡回し、より近い場所で、具体的に声をかけておられました。

(講座の様子から)



「発表会や運動会、家族でお出かけの時、わが子をスマホで写す機会はたくさんあります。こんな講座があるといいな」という思いから、今年度、実施してみました。」(学級長さんより)

「本園の保護者さんは、このような活動にとっても協力的です。皆さん、意欲的ですよ。」(園長先生より)

役員のお母さん達が、交替で下の子どもたちの相手をしておられました。いつも自然とそのような動きになるそうです。



講座の最後に、「質問コーナー」がありました。

Q:オートフラッシュとフラッシュの使い分けが知りたい。

Q:写真を撮ることが難くなる年齢の子たちを撮影するヒントは？ 等、

参加者からの問いに、先生が、丁寧に答えてくださいました。講座に参加した皆さんから、「とても楽しかったです。少し工夫することで、素敵な写真が撮れるのですね。」「写真を撮る時はピント合わせに気をつけたい。」「とても勉強になりました。スマホでよく写真を撮るので、教えてもらったことを活かしたい。」等、会話が弾みました。笑顔で帰って行かれる姿が素敵でした。

講師



なかね あい
中根 愛 さん

・アルバム大使マスター講師 ・スマホカメラ講師
・写真整理アドバイザー初級
・MMC 写真教室公認パートナー



今月は、特別支援学校と幼稚園を訪問・取材させていただきました。どちらも家庭教育学級のリーダーの皆さんが意欲的に活動を推進し、充実した学級を運営しておられました。共に講話を聴いたり、活動に参加させていただいたり、取材側にとっても皆さんとの繋がりを実感した、貴重な時間となりました。